

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	メインストレッチャーを救急車から引き出そうと際、傷病者がストレッチャーから転落しそうになった。
3. 体験した事例の中心的要素	メインストレッチャーを救急車から引き出した際、ストレッチャーの頭側の脚が伸びきれず、ロックが掛からなかった。
4. 体験した事例の原因・理由	メインストレッチャーの構造上、救急車からストレッチャーを引き出す際、足側の脚が完全に伸びきらない状態でロックをし、その状態で車輪を地面につけ引き出すと頭側の脚が伸びきれずロックが掛からない構造である。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 21 年 6 月 16 日 午後 8 時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外：病院駐車場
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落、
7. 事例体験時の活動	救急現場活動中期、 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	搬送中、搬送法、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[44]歳、勤続年数[23]年、現場経験年数[23]年、階級[消防司令補]、同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[47]歳、勤続年数[29]年、現場経験年数[24]年、階級[消防司令補]、同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [その他：副隊長]
○当事者C	年齢[24]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[]年、階級[消防士]、同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	Cにストレッチャーを引き出すように指示	
経過2	C	左手でメインフレームを持ち、右手でリリースハンドルを握りながら引き出す	このとき、足側の脚が伸びきらない状態でリリースハンドルを戻し脚がロックされた
経過3	B	ストレッチャーの脇について確保そして自らの足でストレッチャーの頭側の脚を伸ばす操作	
経過4	A	ストレッチャーの脇について確保そして自らの足でストレッチャーの頭側の脚を伸ばす操作	
経過5	A	ストレッチャーの頭側の脚が伸びていのに気付き再度、ストレッチャーを収容するように指示	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
 ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険事象の対応方法を知っていた。資機材の操作がうまくいった。指揮者が適切に指示した。他隊(員)との連携活動がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・ 活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	いいえ
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狭隘な場所であった。	いいえ
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

メインストレッチャーの基本操作とヒヤリハット時の操作

基本操作



足側の脚が伸びている状態でロック



隊員の足を添えストレッチャーの脚のロックを介助する
(脚が伸びている状態)



頭側の脚がロックされる

ヒヤリハット時の操作



足側の脚が伸びていない状態でロックし車輪を地面につけ、引き出している状態



上記の状態引き出すと、基本操作時と違い頭側の脚の向きが逆となる



頭側の脚がロックされずストレッチャーが落下する